

～ いざカンボジア王国へ！ No.7 2023年1月 ～

小松海里

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

2019年4月から始まった4年間の本プロジェクト“プノンペン都庁及び公共事業・運輸省下水道管理能力強化プロジェクト”も残り2か月余りとなっています。

今までの大きな成果としては、下水道の法律案を策定して2022年5月にJICAから公共事業・運輸省（MPWT）へハンドオーバーしています。現在は、省内の会議、関係省間の会議にて議論され始めています。法律案策定は当初のスコープにはなく、私の赴任後に要請、追加されています。もともとMPWT側で作られた案をレビューして欲しいということで、初めはところどころ気になるところをコメントしていたのですが、結果的には元のを尊重しつ



ハンドオーバーセレモニー

JICA事務所次長からMPWT長官へ

つ、入れ替え、重複削除、追加等々行いました。カンボジアに支店を持つ日本の技術コンサルタントとカンボジアの法律事務所に協力してもらい、毎週のようにMPWTと議論を重ねて作り上げました。多くのステークホルダーが関わるものなので、この案がそのまま使われるわけではないと考えますが、カンボジアの下水道の発展に役立ってくれることを強く願っています。残りのアウトプットとしては、1月中には本来目標の省令案とテクニカルガイドライン案の策定を完了し、2月にMPWTへハンドオーバー予定となっています。

11月下旬からの2週間、下水道を所管するMPWTとプノンペン都、シェムリアップ州、バットアンバン州、シハヌークビル州の公共事業運輸局の計9名と共に研修のため訪日しました。国交省、東京都、北九州市、JSのご協力で講義、実習、現場見学等させていただき、法令、財政、水質検査、維持管理、広報等幅広く学びました。参加者からは大変有意義だったと好評いただいております。ご対応いただいた組織や皆様に改めて御礼申し上げます。（ご挨拶できなかった皆様申し訳ございませんでした。）



JS表敬訪問

残り2か月、なんとかプロジェクトが無事に完了するように頑張りたいと思います。なお、次期技術協力プロジェクトについてもカンボジア側から要請が出されています。

※今更なのですが、JICAのHP上に本プロジェクトの広報ページがございます。よろしければ、ご覧いただけると幸いです。

<https://www.jica.go.jp/project/cambodia/032/index.html>

私は、これまで JS では 1 年未満～3 年ごとに異動をしてきましたが、今回まさかのカンボジア 3 年 9 か月が最長となります。コロナ禍がなければ 2 年で後任に引き継いでいたと思いますが、人生なにがあるかわかりません。とはいえ、どんなところで生活していても生きていく上では日々の買い物が欠かせません。カンボジアで買い物と言えば、ということで今回はマーケットをご紹介したいと思います。

プノンペンにはかなりの密度で新旧多くのマーケットが街中にあり、現地住民や観光客でいつも活気にあふれています（コロナ規制時以外）。その中でも観光で外せないのが下写真のセントラルマーケット、ロシアンマーケットです。



セントラルマーケット クメール語の直訳は“新市場”だが 90 年近い歴史がある。フレンチコロニアル調のドーム内は貴金属やカンボジア産の宝石を取り扱っている。（贗物に注意！）



ロシアンマーケット
ローカル感満載の市場の中で観光土産物を多数取り扱っている。

市場では、ゆりかごから棺桶までとにかくなんでも扱っていきそうなのですが、なぜか欲しいもの必要なものは見つけれないことが多く……。

クメール語学习中、道ですれ違った知人との挨拶代わりに“タッナー（どちらへ行くのですか）？”という呼びかけを習いました。返答は、自転車ですれ違う一瞬の場合などは実際に違ったとしても“タアップサー（市場へ）！”でも良いということです。他のアジアの国でもこのやりとりはあるようです。日本でも箒を持ったおじさんが“おでかけですか～？”と尋ねる伝統（？）があり、面白いですね。



市場の破れた屋根から射す光が作る独特のコントラスト

それでは、2023 年が皆様にとって良い年となりますように。日本からの観光客も戻ってきつつあります。最新のカンボジア情報をご希望の方はぜひご連絡ください。